

妙高山遭難 現地での対応(2009年3月23日)

中村 雅明(昭和43年卒)

朝、薄日が差していたが相当の強風であった。ヘリが9時過ぎには飛来するか待ったが乱気流のため飛来出来ない旨の連絡が妙高警察からあった。その後、16時近く迄、ヘリは新潟空港で待機するも強風が収まらず、遺体収容を明日に持ち越した。東京より高崎さん到着。西牟田さん、前神夫妻、佐藤夫妻帰京。

8時30分頃 近藤夫人の弟さん、近藤君娘さんが電車で帰京した(葬儀準備の為)。

川名さんも同じ電車で帰京した。

9時05分 妙高警察署の大島課長に電話するも、早朝会議で不在。

9時11分 再度、大島課長に電話するもまだ早朝会議中で状況確認できず。

9時35分 大島課長より電話有り。

ヘリは現場の乱気流のため飛べない。

風が収まれば直ぐ飛び立てる様に待機中。

待機のタイムリミットは16時。

10時40分 高崎さんに電話。現地来援要請。

11時41分 大島課長より電話有り。

前神さんの山行歴の照会 →前神さんに取り次ぎ

13時51分 近藤君勤務先社長の平井氏から電話有り。

状況確認。17時頃再度連絡要請有り。

13時15分 東京本部の金子さんに電話。状況報告。

15時50分 大島課長に電話。状況確認

本日の遺体収容は無し。明日は好天の見込み。

↓

ご家族にお伝え

15時52分 高崎さん到着。直ちに打ち合わせ

・西牟田さん、前神夫妻、佐藤夫妻は帰京する。

・24日以降の現地対応は高崎さん、中村で行う。

16時20分 前神夫妻、佐藤夫妻は前神さんの車で帰京。

西牟田さんは前神さんの車に妙高高原駅まで同乗。電車で帰京。

16時57分 平井氏から電話有り。状況問い合わせ。